

運動方針大綱

一、世界のあらまし

資本家地主の御用學者達は、色々な統計を使つて、恐慌も底を入れた。ヤガテ、景氣が良くなるだろうと、何遍となく唱へてきた世界經濟恐慌はスデニ、五年間、資本主義國をオソヒ深く喰ひ込んでゐるそれにもかかはらず、最近ではまた經濟界に世界的な景氣への兆候が見えると言はれてゐるのであるが一方、國內的にも國際的にも政治的危機が深刻になり激化してゐることは景氣と言はれてゐるものが、ホントの景氣でなくして、操装された景氣にすぎないことを證據だててゐるのである。何故かと言へば國際的政治紛争の一つは資本家が商品を買ひサバイテ、利益を得ることの出来る地盤（市場）の奪ひ合ひをめぐつて起つて

ゐるのであるが、若しも景氣がヨクなつたのであれば、各國の資本家共が血みどろになつて、市場攻略のためにモガク必要はないはづである。従つて若し今日の景氣なるものがあるとしても、それは人爲的な通貨の増發、軍備擴張による、國家消費の増大等ひつくるめて言へばインフレーション政策による一時的、それも、軍工業資本家をコヤンてゐる。カタチンバの景氣であつて、それは更らに、國內的、國際的經濟政治の破局を大きくするものであり、勞農大衆の生活を愈々窒息させることになるのである。

先づアメリカを見るに、昨年の三月ルーズベルトは金米四十八州に金融恐慌の大嵐が吹き荒れてゐるとき、大統領の任に就き、未曾有の獨裁權を與へられた。彼は直ちに、金本位制の停止數億ドルの救濟金をバラマキそれでも足り